

健診アンケート結果レポート



NJCグループで働く人たちに聞きました

「健康診断に関する意識調査2019」 アンケート結果

日本事務器株式会社



■ NJCグループの社員、健康診断への関心はどのくらい？



子会社を含むNJCグループを対象に「健康診断に関する意識調査」アンケートを実施しました。メール配信対象者**1134名**に対し、有効回答数は**886名**です。

毎年受けている健康診断に対して、普段NJCグループの社員がどんな風を感じているのか、アンケートの集計結果からポイントを絞ってご紹介していきます。

【アンケート実施期間】2019年1月9日～1月23日

Contents

NJCグループ全体の男女比率・年齢ゾーン、受診した健診の種類	3
健診施設を選ぶ基準	3
健診の予約方法	4
オプション検査の有無、なぜオプションを追加しないのか？ その理由は…	4
結果報告書は分かりやすい？	4
結果報告書の内容はどの程度理解できている？	5
いつもの検査結果以外に欲しいモノ	5
精密検査を受けたことがある？	5
精密検査をどこで受けた？ 受けなかった理由はなに？	6
まとめ	6

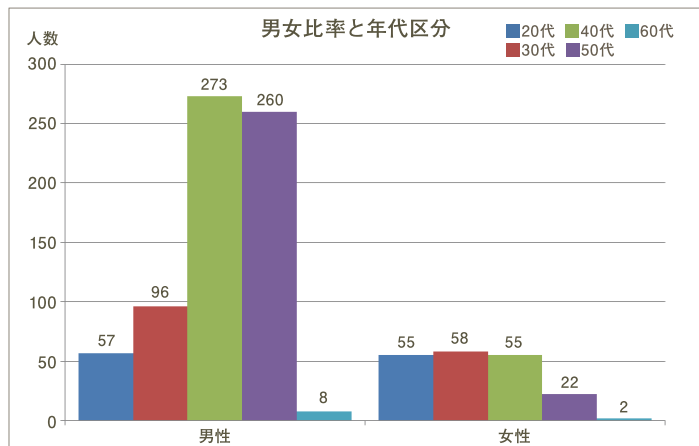
◆日本事務器株式会社

【NJCグループ】

- ◆日本事務器シェアードサービス株式会社
- ◆NJCネットコミュニケーションズ株式会社
- ◆株式会社メディカル情報サービス
- ◆NJCソフトウェア株式会社



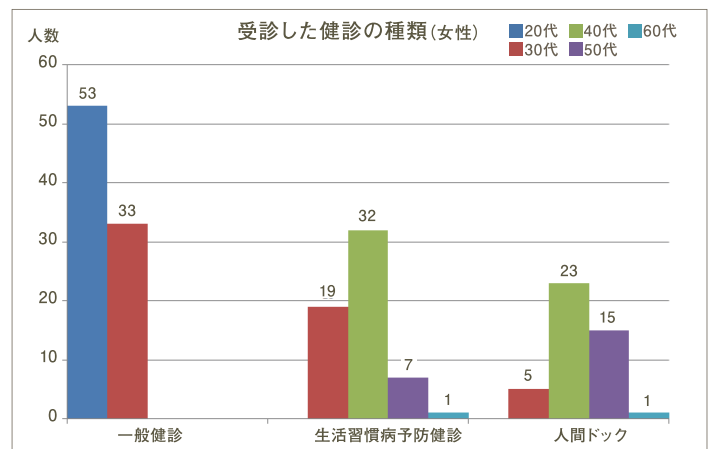
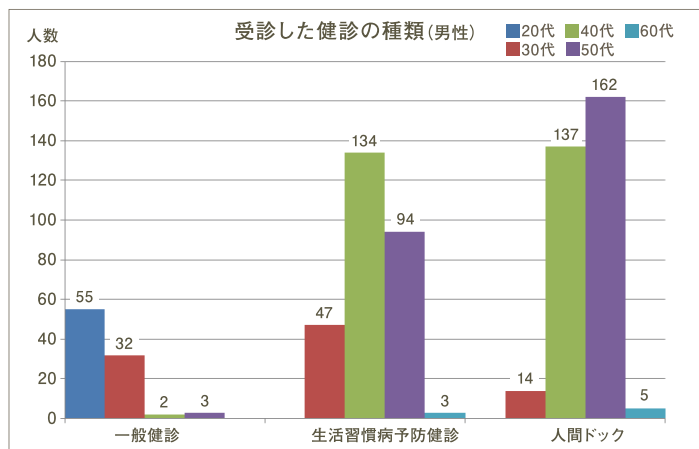
NJCグループ全体の男女比率・年齢ゾーン、受診した健診の種類



今回、アンケートに回答した社員は886名、男女別にみると男性：694名、女性：192名でした。

女性は40代くらいまでは同数で推移して、世代よる偏りが少ないのがわかります。それに対し、男性は30代から40代にかけて大きく差が開いているのがわかります。現時点で働き盛りといわれる年代層は厚いものの、次代層がちょっと薄い印象でしょうか。

受診している健診の種類も、概ね年代に応じた結果となっていました。当社では節目年齢(40歳、45歳、50歳、55歳、60歳)の方は自己負担なしで人間ドック内容が受診できます。そのタイミング以外でも毎年人間ドックを選択している方も多い、という結果ですね。

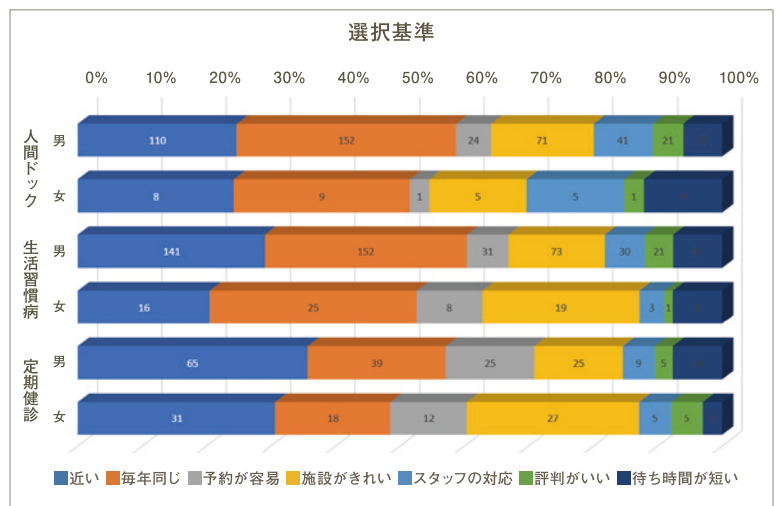


健診施設を選ぶ基準

「初回」の決定が勝敗を決める

当社は全国に拠点があるため、複数の医療機関と契約を結んでいます。だいたい会社か自宅に近い場所を選ぶ傾向があるのがわかります。そして一度行く施設を決めると、ほぼ毎年同じ施設に通っている人がほとんどです。健診施設の渉外担当の方が事業所健診の契約に注力する理由が、この点ではないでしょうか。検査データを経年で比較して見たいため、といった理由も多そうですね。ただ、スタッフの対応や医師に不満があった場合は、何年か通っていてもアッサリ変更するという意見もチラホラ。

次にポイントをおいている部分は「施設のきれいさ」でしょうか。どうせ健診を受けるのであれば、少しでもキレイな施設を選びたいのが人情かもしれません。その他には電子カルテや健診システムのお客様だから、と答えてくれた方が数名いました。





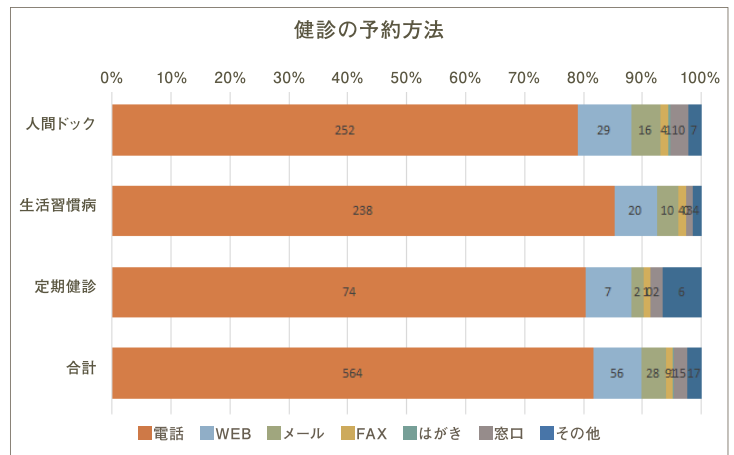
健診の予約方法

まだまだ圧倒的に多い電話予約

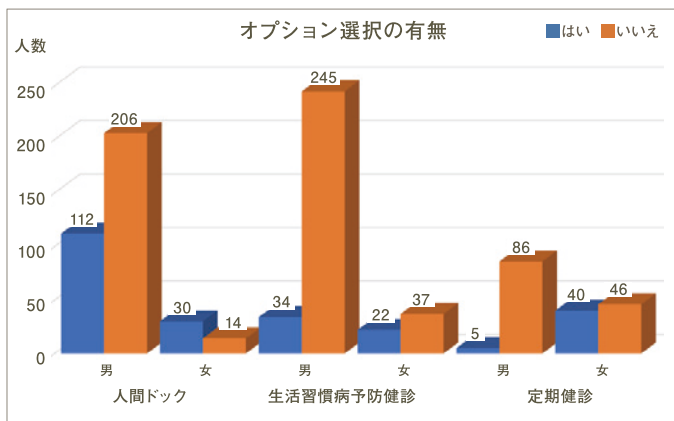
予想ではWEBページやメールでの予約が結構多いのでは?と思いましたが、意外にも当社ではまだまだ電話での予約が圧倒的に多いようです。

電話だと自分のスケジュールを見ながら、すぐに予約の可否がハッキリする、というところにメリットがありそうです。“E-PARK”などの外部WEB予約サービスを利用している医療機関が増えていますが、複数の希望日を伝えてやりとりするため、「今すぐハッキリしたい!」といった場合の煩わしさがあるのかもしれない。

その他の少数回答では『拠点でとりまとめて予約しているので方法が分からない』『ユーザー先なので担当窓口で口頭で予約』といった当社内の営業の事情が垣間見える場面も…。先の質問にもあった“健診施設を選ぶ理由”とも連動していました。珍しいパターンでは「WEBサイトで空きを確認して電話をかける」という方もいるようです。

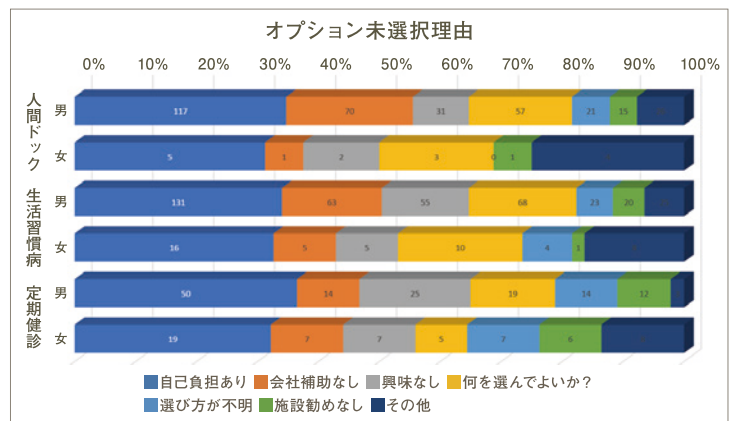


オプション検査の有無、なぜオプションを追加しないのか? その理由は…



オプション検査は追加している?

当社は生活習慣病健診や人間ドックの検査項目が充実しているため、オプション検査を追加する機会が少ない様子です。ただし、女性の場合は30歳くらいから婦人科(乳がん・子宮頸がん)のオプションを付ける方が多いため、男性よりは『いいえ』の回答率が低くなっています。

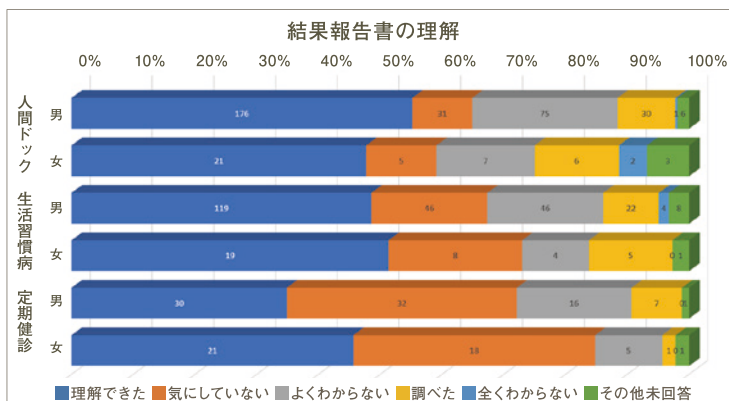


オプション検査を受けない理由は?

自己負担や会社補助などの理由が多いですね。当社社員のお財布の紐は固い!

また自分がどんな検査を受ければ良いのかよくわからない…という意見も多いです。確かに医療機関のWEBサイトを見ても、「どんなオプション検査があるのか」は載っていても、「どんな検査を受ければいいのか?」という気持ちに対応されているものは少ない印象です。元々関心が高い人以外は興味が湧きにくいのかもかもしれませんね。

結果報告書は分かりやすい?



さて、手元に届いた結果報告書。健康状態の成績表でもありますが、見方はわかりますか?という質問です。

まずは定期健診です。さすが若い人が多いだけあって結果そのものを「気にしていない」人が多いですね。実際、検査結果もまったく問題ない人が多いのではないのでしょうか。

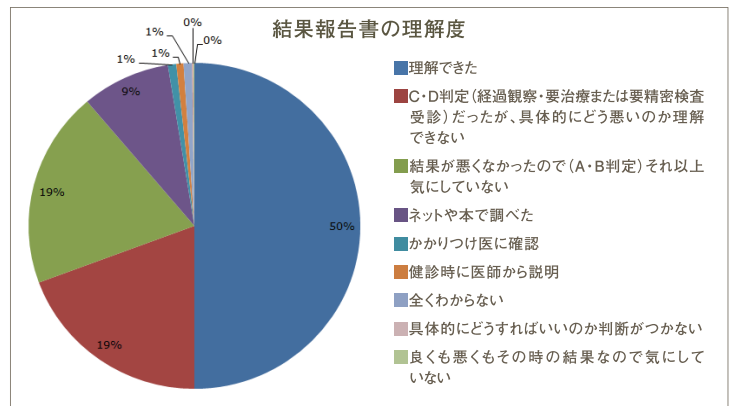
生活習慣病や人間ドックになってくると、検査項目も一気に増えて、送られてくる結果報告書も立派になってきます。人間ドックだと、フルカラーで何ページもあるような冊子タイプの報告書を出している施設も多いですね。検査の意味や結果の説明など図解入りで詳細ですから、理解できている方も多いのではないのでしょうか。ただ、それでも一定数は「よくわからない」と感じている人も…。



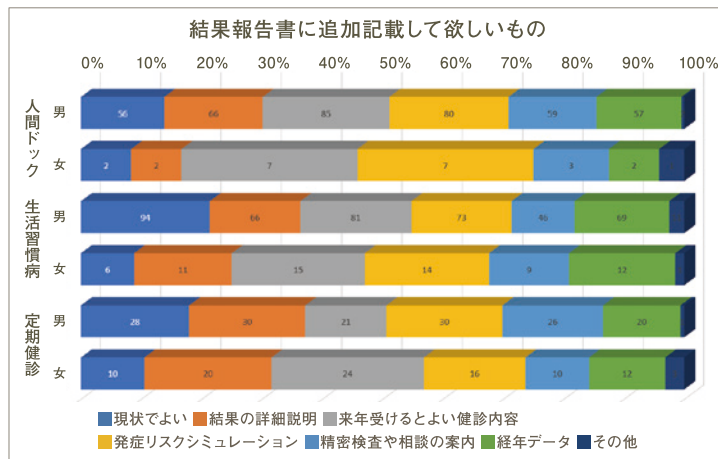
結果報告書の内容はどの程度理解できている？

こちらの円グラフは理解度全体の集計です。半数以上の方が理解できていると答えているものの、赤色の「経過観察やD以上の有所見判定が出ているのに、自分の体がどう問題になっているのかが分からない」といった人が一定数いるようです。上位から4番目の「ネットや本で調べた」自己解決型の方もいますが、こちらは少数。恐らく「どう悪いか理解できない」まま、なんとなくそのままになっている可能性があります。

その他の回答としては「かかりつけ医に相談」「継続的に治療のため主治医に相談」している人が数名ほど。継続的に診ていただけるドクターがいて、相談できる環境があるのは、とってもいいですね。ほかにも「健診担当SEだから内容は理解できる」と頼もしい回答をしてくれた人も数名います。



いつもの検査結果以外に欲しいモノ



【その他の意見】

- それぞれの結果に対する具体的な改善提案。悪い判定の検査項目に対して、どうすれば改善できるのか具体的なアドバイスが欲しい。
- この結果が出た理由と、自分の生活習慣の何を、どのように変えれば良いのかを知りたい。
- よくする為の具体的な対策プラン(複数)
- 医師目線による分析過去データや類似データ、統計情報などからの分析結果。IoT機器による身体情報や食事情報などを提供して、健診結果と関連性があるのかを含めた分析。

もっとオススメされてもいいと思っている

今の健診結果にどんな情報がプラスされたら嬉しいんだろう？という疑問からの質問です。

定期健診対象の方は、だいたい満遍なく意見が分かれている感じです。少し特徴が出てくるのは、やはり検査項目の多い生活習慣病健診と人間ドックの受診者さんたちです。目立つのは「来年受けると良い健診内容」と「発症リスクシミュレーション」の2つですね。

健診センターのWEBサイトを見ていると、「受診できるオプション検査」はたくさん紹介されていますが、なかなか自分事として意識しにくい気がします。そんな時、自分の検査結果・健康状態に応じて、「次年度に受けたら良いオプション検査」をオススメされたら、『せっかくだし受けてみようかな?』という気持ちも高まりそうです。将来的には個人に合わせたオリジナルの健診が当たり前になるかもしれません。

個人的には5つ目の「精密検査や相談したいときの案内」内容が充実されると嬉しいです。費用感や紹介状の取り方の説明があると、どうアクションを取ればよいかの目安になります。電話だと時間によってかけづらい場合もあるので、WEBの相談窓口があるといいですね！

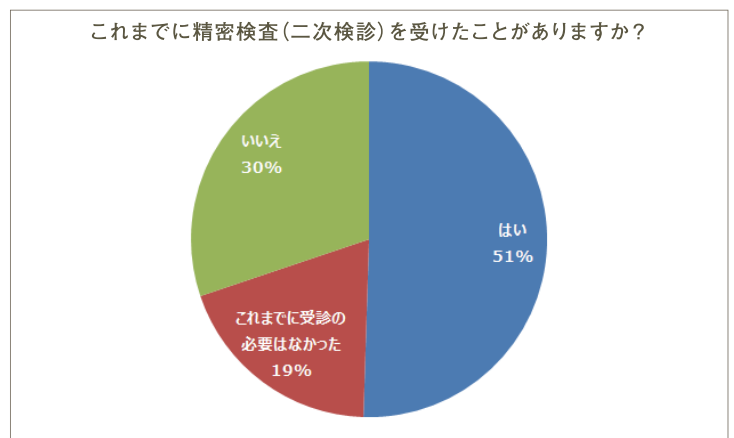
精密検査を受けたことがある？

平均年齢に比例して発生する“要精密検査”の文字

二次健診対象になるということは、つまりD判定以上の有所見者になったということ。やはりショックな気持ちは隠せません…。そんな経験をした人は、社内でどのくらいいるのでしょうか？

当社全体の平均年齢を考えると、…なんとなく納得してしまう結果ではないでしょうか。加齢に伴う不調は大なり小なり出てきます。

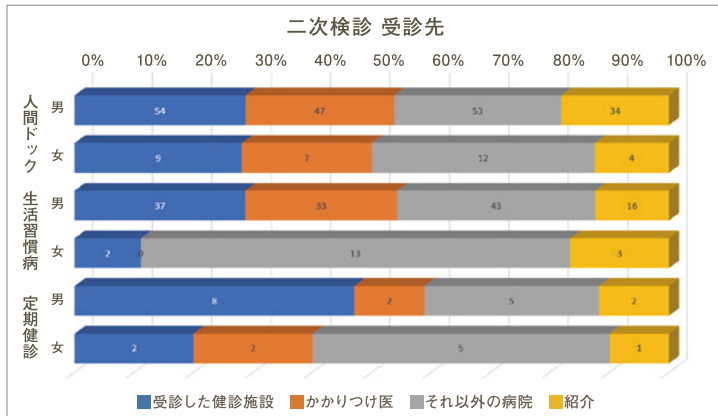
「これまで受診の必要が無い」人は約20%ですから、健康状態に何らかの問題抱えてる方が多いと想定できます。ところで「いいえ」と答えた約30%の人は、病院で検査を受けていないことが発覚しました。大丈夫なんですか…。検査に行かない理由についても集計していますので、後ほどご紹介します。





精密検査をどこで受けた？ 受けなかった理由はなに？

「はい」と答えた方。精密検査はどこで受けている？



生活習慣病健診・人間ドックの方は、(検査内容にも依るのでしょうが)まずはかかりつけ医に相談、という印象を受けます。しかし、生活習慣病健診・定期健診の女性の場合は圧倒的に「それ以外の病院」が伸びています。これは恐らく乳がん・子宮頸がんなどの婦人科検診オプションの影響ではないかと推測されます。理由として考えられるのは、婦人科のかかりつけ医を持っている人がまだまだ少ない事、マンモグラフィなどの大型モダリティ機材は、大きな病院じゃないと完備していない点などでしょうか。

病院併設型の健診機関でない限り、積極的なフォローアップ(紹介や再検査の案内)を実施している健診機関はまだ多くない印象ですが、ここの仕組みがかわると、安心かつスムーズに受診に行けそうな気がしますが、みなさんはどう思われますか？

「いいえ」と答えた方。受けなかった理由は？

受診しない理由については、実にバラエティに富んだ回答が寄せられました！

集約してみると、上位は4つにまとまりました。「1位 自覚症状が無い」「3位 面倒くさい」は、「現時点で困った状態じゃないのに、わざわざ病院に行くのはとても億劫」という心の声が聞こえてきそうです。また「2位 多忙のため」も日々の業務に追われ、日程や休暇調整の煩わしさを思うと、つい納得してしまいがちな理由です。つつい後回しにしてそのまま…なものも頷けます。「4位 結果を知りたくない」は、自覚しなければ悪かった事実はない。。という事ですね。数値は嘘を言わないので、結果は変わらないのですが。その他コメントも本当にたくさんありましたが、概ね3カテゴリくらいにまとまりました。

精密検査を受けた方も共通し、すでに通院している場合が殆どです。カテゴリ2つ目の「どこで受診すれば良いかわからない」人や「この検査を受けるとどのくらい費用がかかるのか知りたい」人などは、フォローアップの工夫次第でちゃんと受診する層に移行できそうです。ここは改善ポイントではないでしょうか。

カテゴリ3つ目、最後の「嫌だったので」は、一番パンチがきいたストレートな理由でした。ここのグループの人は、実際の自覚症状や、身近な人が病気になった、といった何かしらインパクトある理由がないと、意識は変わらない可能性は高いのではないのでしょうか。じっくり腰を据えた長期的なアプローチが必要かもしれません。

受診しなかった理由 上位4つ

順位	理由	人数
1位	自覚症状がない	87
2位	多忙のため	75
3位	面倒くさい	55
4位	結果を知りたくない	6

その他のコメント

※かかりつけ医がいるから・治療、通院中・検査済だからというグループ

主治医に相談
かかりつけ医で以前から把握しているため
治療中なので、主治医に意見を聞いてます。
長年通院治療中
同一の疾病で通院しているため
定期的に内科を受診している為、担当医に結果を報告しています。
すでに他院で検査しているから
別の医療機関で再検査したら不要と言われた
受診したが経過観察になった

※受けるつもりはあるけど、迷いや受診手段がわからないグループ

どこで受診したら良いかわからない
費用がどれくらいかかるのか？どこで受ければ良いのか？等を調べないといけないので、後回しにしがち
受けなきゃと思いつつ次の健診になった
どの専門医に訪問して良いかわからないため
どこにかかれば良いか思案している間に1年経過した
人気医療機関の為、受診予約期間が長い。
受診のきっかけがなかったから。

※純粋に受ける気持ちがないグループ

念の為程度なので受診していない
必要と感じていない
結果自体極端に悪いものではなかったため
検査しても改善しないので
良くも悪くもその時の結果なので気にしていない
嫌だったので

まとめ

事業戦略本部と営業各事業部の健診担当メンバーたちで企画したアンケート調査でしたが、NJCグループ社員みんなの協力もあり、有意義な結果を得ることができました。問題のあった質問内容を改良し、次年度以降も続けて調査をしていきたいと考えています。今回の結果が、医療機関・健診機関の皆様の新たな気づき・チャレンジへの参考となれば幸いです。